

第2問 次の文章を読んで、問1～問3に答えなさい。

豊富な樹種に恵まれた日本の木工芸は、弥生時代の鉄製工具の普及、古墳時代以後の大陸からの技術者の渡来等によって急速に発展し、正倉院の木工品は現代の木工芸にも大きな影響を与えている。

その後、日本特有の素材を生かした和風化が進み、近代には木工芸の各技術分野に名匠が現れ、日本の工芸の重要な一部門として認められるようになった。

木工芸には、①指物（さしもの）、刳物（くりもの）、挽物（ひきもの）、曲物（まげもの）等の技法があり、いずれも長期にわたる入念な工程を経て、②素材の特色を生かした制作が行われる。

問1 下線部①を説明した文として、適切ではないものを選びなさい。 No. 5

- ア 指物（さしもの）とは、釘などを使わずに、木と木を組み合わせる技法である。
- イ 刳物（くりもの）とは、ノミなどで木をくり抜き、くぼみを作る技法である。
- ウ 挽物（ひきもの）とは、多種の木を寄せて貼り合わせ、模様にする技法である。
- エ 曲物（まげもの）とは、薄くした木材を円形に曲げる技法である。

問2 下線部②に関わって、次の表の空欄1～3に当てはまる語句の組合せとして、適切なものを選びなさい。 No. 6

【木工品の主な材料となる木材の特徴】

堅さ	木	特徴
堅い ↑ ↓ 柔らかい	1	非常に堅く、和箆笥や和机、ちゃぶ台、和太鼓の胴の部分などに使われる。
	2	堅すぎず柔らかすぎず、版画の版木、木彫など幅広い用途で使われる。
	3	柔らかく加工しやすい。秋田県の伝統工芸品「曲げわっぱ」などに使われる。

- ア 1－スギ 2－ケヤキ 3－ホオ
- イ 1－スギ 2－ホオ 3－ケヤキ
- ウ 1－ケヤキ 2－ホオ 3－スギ
- エ 1－ケヤキ 2－スギ 3－ホオ

問3 下線部②に関わって、次の文章の空欄1、2に当てはまる語句の組合せとして、適切なものを選びなさい。 No. 7

木彫には、薬研彫りやかまぼこ彫りなどの代表的な彫り方があり、組み合わせることにより、様々な模様になる。

木には木目があり、彫刻刀等で彫り進めるときに、彫りやすい方向（ 1 ）と彫りにくい方向（ 2 ）がある。

2 で彫ると、思った以上に深く刃が入ってしまったり、彫りあとが荒くなったりする。

- ア 1－まさ目 2－板目
- イ 1－順目 2－逆目
- ウ 1－まさ目 2－逆目
- エ 1－順目 2－板目

第3問 次は、中学校学習指導要領（平成29年3月）「美術」及び中学校学習指導要領解説（平成29年7月）「美術編」の一部です。問1～問3に答えなさい。

【中学校学習指導要領（平成29年3月）「美術」】

第6節 美術

第1 目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、1 豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、2 心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【中学校学習指導要領解説（平成29年7月）「美術編」】

第2章 美術科の目標及び内容

第1節 美術科の目標

1 教科の目標

(1) 教科の目標について

(略)

造形的な視点とは、造形を豊かに捉える多様な視点であり、形や色彩、材料や光などの造形の要素に着目してそれらの働きを捉えたり、3 に着目して造形的な特徴などからイメージを捉えたりする視点のことである。

問1 空欄1に当てはまる語句として、正しいものを選びなさい。 No. 8

- ア 見通しをもち
- イ 主題を生み出し
- ウ 経験を生かし
- エ 自己を見つめて

問2 空欄2に当てはまる語句として、正しいものを選びなさい。 No. 9

- ア 造形に親しもうとする
- イ よりよい創造を目指す
- ウ 表現活動を楽しもうとする
- エ 美術を愛好する

問3 空欄3に当てはまる語句として、正しいものを選びなさい。 No.10

- ア 主題
- イ 全体
- ウ 技法
- エ 様式